

神の分与

—主イエスを信じる奥義を開く

「その霊は人に命を与える…栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきます」

(第二コリント第3章6、18節)



神に一つの計画があります。この計画は、聖書の中で「神のエコノミー」と呼ばれています。神のエコノミーとは人に対する神の計画全体のことです。それは神が人の中に「分与」され、人の内容となり、人を通して生かし出され、神が多くの人々を通して団体的に表現されることです。しかし、最初の人アダムの墮落を通して、罪の性質が人の体の中に入りました。その結果、人の霊は死に、魂は神に敵対し、体は罪を犯すようになり、神のエコノミーは達成できなくなりました。

そのため、神は「肉体」と成り、人としてこの地上に誕生されました。無限の神は有限な人の中にもたらされ、両者は一つに結合されました。この方が主イエス・キリストです。彼は十字架上で死に渡され、人の罪の性質と人が犯したすべての罪を取り除き、また彼の内側の神を神の命を伴って解き放ちました。さらに、三日後に復活し、彼の全存在は栄光の中にもたらされ、わたしたちに対して「その霊」すなわち「命を与える霊」と成られました。命を与える霊は地球を取り巻く空気のようにどこにでも存在し、十字架上で解き放たれた神を、主イエスを信じる人の中に神の命を伴って分与します。人は一回目の誕生で両親から人の命を得ます。人が主イエスを信じる時、彼から神の命を得て、二回目の誕生を経験します。聖書はこれを「再生」と言います。人が神の王国に属し、神を生かし出して神を表現する生活をしたくないなら、それは教育・改善・規制によっては不可能です。命が異なるからです。彼は必ず神の命を受けなければなりません。

クリスチャンとは主イエスを信じた人であり、神の分与を受ける人です。まず神はご自身をわたしたちの霊の中に分与されます。次に、神はわたしたちの霊から魂の中へと広がり、わたしたちの魂を「造り変え」ます。最後に、わたしたちの霊、魂、体すべてにご自身を満たし、ご自身を浸透させます。聖書はこれを「栄光化」と言います。栄光化によって、神はわたしたちの内側から外側へと輝き出て、わたしたちは神の生ける表現となります。このようにして、わたしたちは復活したキリストと全く同じかたちに「同形化」されます。これは、カーネーションの種が土にまかれ、生長し、ついには花を咲かせるようなものです。キリストは再生を通して「栄光の種」としてわたしたちの霊の中にまかれ、魂の中へと生長し、最後に体において開花し、わたしたちの全存在はキリストの中で神の栄光を表します。これこそ本当の栄光であり、神があなたのために定められた計画です。これこそ人生の目的であり、主イエスを信じてクリスチャンとなる意義です。